

令和2年3月27日
中村河川国道事務所

おおがた

一般国道56号 大方改良

開通1年後の交通状況について

おおがた
平成31年3月24日(日)に開通した一般国道56号大方改良の交通状況についてお知らせします。

一般国道56号 大方改良の概要

資料-1

【交通量】一般国道56号大方改良開通後の交通状況

資料-2

○一般国道56号大方改良開通後の断面交通量は、**約11,000台/日**。

○大方改良開通後、断面交通量の**約8割が新しい国道を利用**。

【効果①】歩行者・自転車利用者の安全性が向上

資料-3

【効果②】搬送時間の短縮により救急医療活動を支援

資料-4

【効果③】旧国道沿道の騒音の減少により沿道住民の生活環境が改善

資料-5

【効果④】地震発生時の避難における地域住民の安全な移動経路を確保

資料-6

本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への『支国』防災力向上プロジェクト」及び「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた『資国』産業競争力強化プロジェクト」等の取組に該当します。

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 (TEL: 0880-34-7301代表)

副所長(道路) 平口 正雄(へいぐち まさお) 内線205

◎調査課長 矢野 裕紀(やの ひろき) 内線451

<◎: 主たる問合せ先>

一般国道56号 大方改良の概要

事業の目的

- 一般国道56号大方改良は、**道路幅員が狭く、歩道が整備されていない旧国道の課題を解消し、歩行者や自転車利用者の安全性向上**を目的とする道路です。
- また、防災拠点として黒潮町が整備した黒潮町役場新庁舎などと相まって、**南海トラフ地震時の地域住民の避難や、被災後の迅速な救援・復旧活動など、黒潮町の目指す「犠牲者ゼロ」の取り組みを支援**します。

位置図



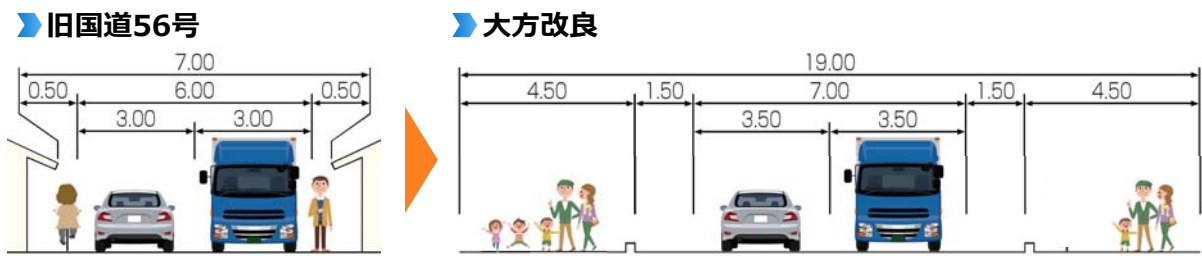
平面図



事業概要

事業化年度	平成11年度
事業区間	起点) 高知県幡多郡黒潮町入野立石 終点) 高知県幡多郡黒潮町入野神ノ前
延長	2.6km
事業費	68億円

標準断面図

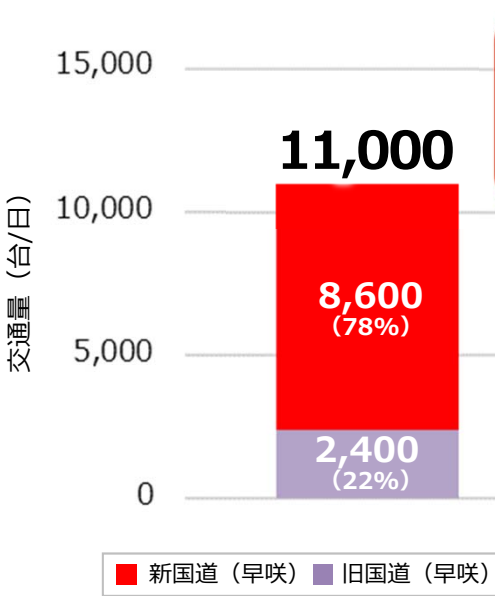


※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものです。

【交通量】一般国道56号 大方改良開通後の交通状況

- 一般国道56号大方改良開通後の断面交通量は、**約11,000台/日**。
- 大方改良開通後、交通量の**約8割が新しい国道を利用**。

開通後の交通量



新しい国道を
**約8割が
利用**

一般国道56号 大方改良 延長 2.6km



交通量調査
可搬型交通量計測装置 (モバイルトラフィックカウンタ) による集計値
令和2年2月20日 (木) ~ 令和2年3月19日 (木) の 日平均交通量



- 凡例
- 大方改良
 - 事業中
 - 国道 (直轄)
 - 旧国道 (町道大方線)
 - 県道
 - 町道
 - 交通量計測箇所

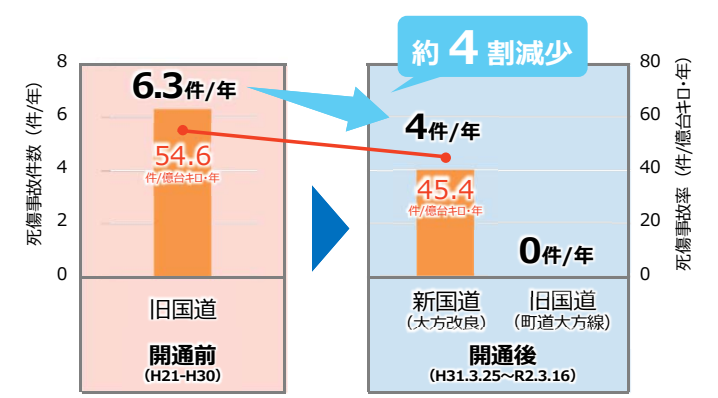
※この地図は、国土交通省国土政策局「国土数値情報」を基に編集・加工したものです。

【整備効果 1】 歩行者・自転車利用者の安全性が向上

- 一般国道56号大方改良による**広い自転車・歩行者道の整備で安全・安心な通行空間を確保。**
- 交通量の約8割が新国道を利用するようになり、旧国道の**歩行者や自転車利用者の安全性も向上。**
- 大方改良開通後の**死傷事故件数は約4割減少。**一方、死亡事故の発生も踏まえ今後も**安全対策を推進。**



開通前後における新国道及び並行する旧国道の死傷事故件数と死傷事故率



資料) H23~H29は、交通事故総合分析センターデータ、H30~R2.3.16時点は、高知県警察

新国道 広い自転車・歩行者道の整備により、安全・安心な通行空間を確保



旧国道 交通量の約8割が新国道を利用するようになり、歩行者や自転車の安全性が向上

入野小学校 交通安全担当者
 交通量が減少し、子供たちのすぐ横を通る車やトラックが減ったので、通学時の安全性が向上しました。



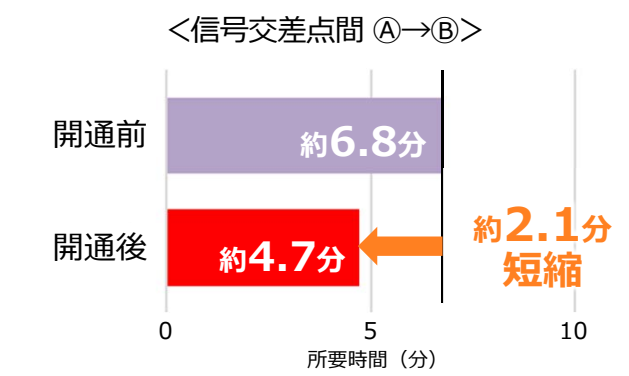
大方中学校 交通安全担当者
 遠い地域から来る生徒の通学路は歩道が広く安全に通学できる大方改良に変更しました。

【整備効果 2】搬送時間の短縮により救急医療活動を支援

- 黒潮消防署管内の救急搬送は、約 9 割が四万十市方面へ搬送しており、**ほぼ新国道（大方改良）**を利用。
- 道幅も広く、混雑のない新国道の利用により、**安定した搬送と追い越しが容易**となり、**交通混雑における搬送先への到着の遅れが減少**。



混雑時における所要時間の変化

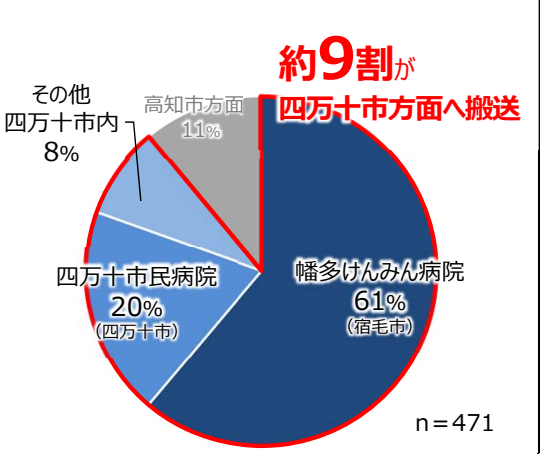


所要時間は、ETC2.0プローブデータ（平日の7時～9時までの所要時間）より算出
 開通前：平成30年11月、開通後：令和元年11月

混雑度	交通状況の推定
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない。
1.0～1.25	昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1～2時間（ピーク時間）ある。何時でも混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性の高い状態。ピーク時間のみの混雑から日中の連続的混雑への過度状態と考えられる。

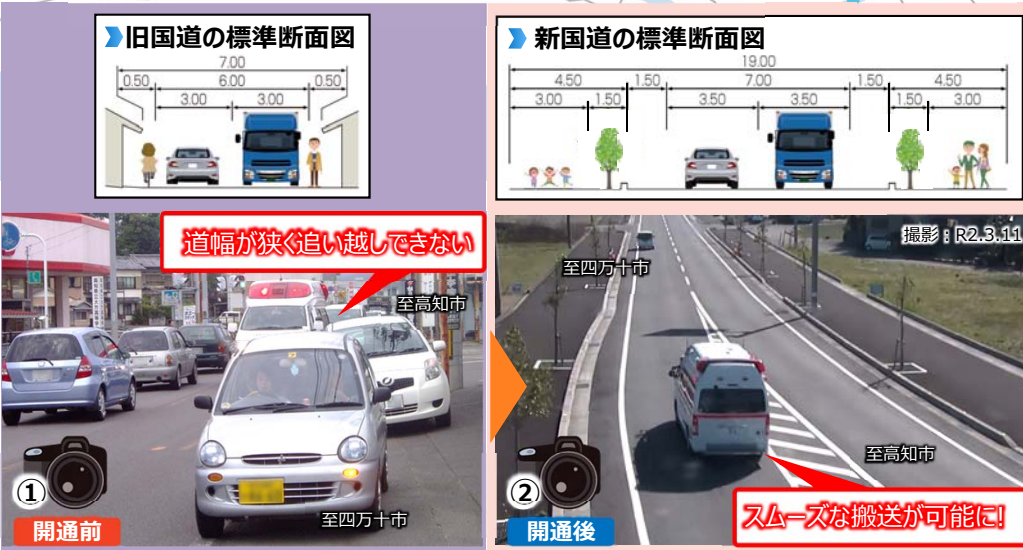
混雑度：H27全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査

黒潮消防署管内の救急搬送先



集計期間：平成31年3月25日～令和2年2月25日
 資料：幡多中央消防組合黒潮消防署

標準断面図と救急車両の走行状況の変化



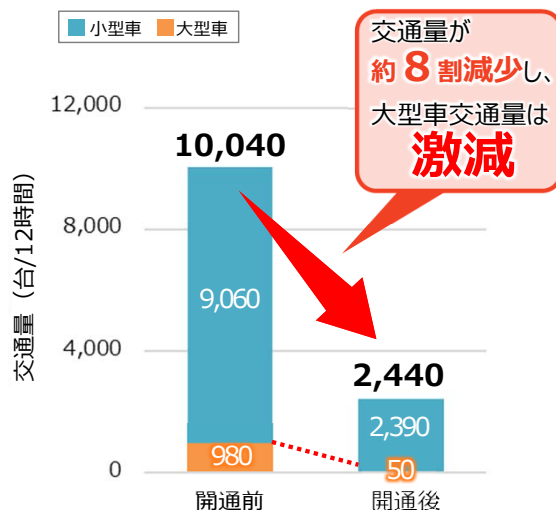
救急医療関係者の声

- 大方改良開通後は、四万十市方面へ向かう際は、**ほぼ新国道（大方改良）**を利用しています。
- 開通前の旧国道は道幅が狭く交通量もあつたので、なかなか追い越しができなかったが、新国道は**道幅も広いので、追い越しやすくなり、病院までの時間短縮が実感**できています。また、開通前のような交通混雑による**到着の遅れがなくなりました**。（幡多中央消防組合黒潮消防署）

- 大方改良の开通により、旧国道の交通量が約 8 割減少し、**大型車交通量はさらに激減**。
- それに伴い、旧国道沿道の騒音が**昼間：13dB**、**夜間：17dB**減少し、**沿道住民の生活環境が改善**。



旧国道の交通量の変化 (平日12時間)

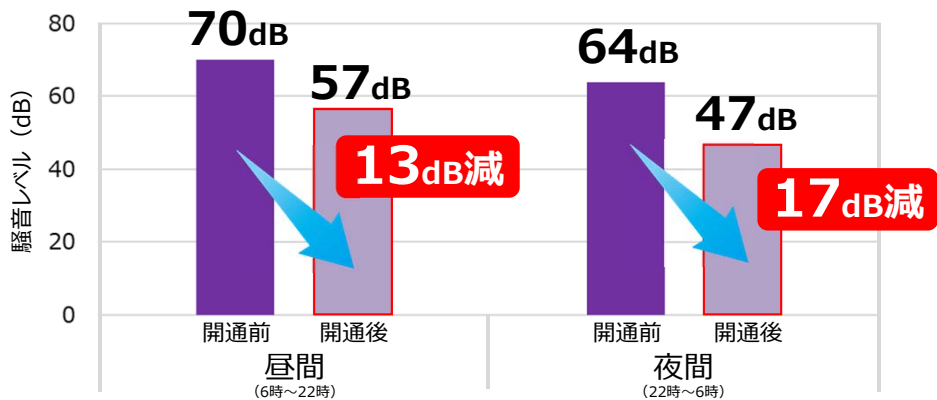


交通量調査
 開通前：人手観測による集計値
 平成20年10月28日(火)の12時間(7時～19時)交通量(平日)
 開通後：可搬型交通量計測装置(モバイルラフックカウンタ)による集計値
 令和2年2月20日(木)～令和2年3月19日(木)の12時間(7時～19時)平均交通量(平日)

旧国道の交通状況の変化



道路交通騒音の変化



騒音調査結果：等価騒音レベル (LAeq) による評価
 開通前：平成20年10月28日(水)～平成20年10月29日(木)、開通後：令和元年10月30日(水)～令和元年10月31日(木)



〇〇デシベル (dB) ってどのくらい？



旧国道沿道住民の声

- 開通前は、玄関先での会話ができないほどうるさかったですが、**大型車がほとんど走らなくなり本当に静か**になりました。(60代女性)
- テレビの音が聞こえないことも多々ありましたが、今では**交通量が減って静かになり騒音を気にすることがなくなりました**。(70代男性)

- 黒潮町は町全体の防災訓練を年1回実施しており、令和元年9月1日(日)に大方改良全線開通後初めての実施。
- 交通量が減少した旧国道や広い歩道の新国道(大方改良)、新設された横断歩道橋の利用により、**地震発生時の避難における地域住民の安全な移動経路を確保。**

入野本村地区から入野小学校への主な避難ルート



黒潮町総合防災訓練時の避難訓練の様子 (令和元年9月1日)



- 凡例
- 避難ルート (ヒアリング調査結果より)
 - 指定避難場所

入野本村地区の避難訓練参加者の声

- 旧国道の交通量が減ったので、歩道橋まで安全に向かうことができた。(50代女性)
- 横断歩道橋まで上がれば、高さがあるので安心できる。(50代男性)
- 以前よりも避難場所まで早く行けるようになった。(80代女性)
- 広い歩道を利用することによって安全に避難できるようになった。(40代女性)



撮影：令和元年11月28日